

110番を正しく利用しましょう

●110番のかけ方

県内の110番通報は、すべて大津市にある滋賀県警察本部に繋がります。「110番緊急電話です」「何がありましたか」「事件ですか、事故ですか」と尋ねますので、「何があったか」を伝えてください。

事件であれば「いつ」「どこで」「どのような事件か」「犯人の人相着衣・逃走方向など」、事故であれば「どういう事故なのか」「けが人はいるのか」「119番通報はしているか」などを順に聞いていきますので、慌てず警察官の質問に答えてください。

110番通報の会話内容は、本部だけではなく、ほかの警察官も同時に聞いており、現場に一番近いパトカーに指令を出すことができます。

110番は、事件・事故など、警察に緊急通報するための専用電話で、その回線も限りがあります。緊急でない相談事や免許の照会などでの110番の使用は、事件・事故の際に110番がかかりにくくなることにつながります。

警察に対する意見要望、問い合わせ、各種相談については「#9110」または守山警察署までお願いします。



市内の交通事故発生件数	発生件数(件)	前年対比(件)
人身事故	151	-53
物件事故	2170	-1
合計	2321	-54

市内の交通事故負傷者数	負傷者数(人)	前年対比(人)
軽傷者	173	-53
重傷者	20	10
死者	2	-4
合計	195	-47

市内の刑法犯認知件数	発生件数(件)	前年対比(件)
粗暴犯	19	-6
窃盗犯	245	-21
知能犯	19	3
その他	49	-14
合計	332	-38

統計:11月末現在

統計調査によって集められた調査票(個人情報)は、個人を識別することができない形で統計を作成するためだけに用いられます。また、統計調査員や統計に従事する者の守秘義務など、個人情報を含め、秘密の保護は、統計法で厳格に規定されています。

個人情報やプライバシーに関する意識の高まりから「統計調査に協力したくない」と思う人もいるかもしれませんが、右記のとおり統計調査を行ったときの個人情報やプライバシーは厳重に保護されています。

統計調査の対象になった場合には、安心してありのままを記入してください。



個人情報と統計調査



国勢調査や経済センサスなど、国や地方自治体は定期的なさまざまな統計調査を実施しています。

行政が行う統計調査の種類や活用について学ぶシリーズです。